

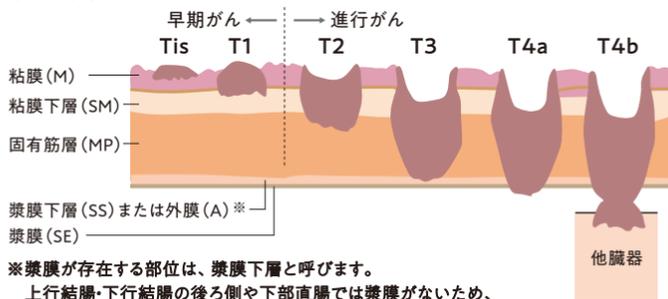
◆ステージ別生存率

ステージ	I (早期)	IV (遠隔移転あり)
生存率	98.8%	23.1%

出典:2009~2011年全がん協加盟施設の生存率協同調査

◆大腸がんの深達度

深達度とは、がんが大腸壁のどの深さまで広がっているかを示す言葉です。



Tis	がんが粘膜(M)内にとどまる
T1	がんが粘膜下層(SM)にとどまる
T2	がんが固有筋層(MP)にとどまる
T3	がんが固有筋層を越えているが漿膜下層(SS:漿膜がある部位)または外膜(A:漿膜がない部位)までにとどまる
T4a	がんが漿膜(SE)を越えた深さに達する
T4b	がんが大腸周囲の他臓器にまで達する

◆大腸がんの病期(ステージ)

病期は、深達度、リンパ節移転・遠隔移転の有無によって決まります。

0期	がんが粘膜内にとどまる
I期	がんが固有筋層にとどまる
II期	がんが固有筋層の外まで浸潤している
III期	リンパ節移転がある
IV期	血行性転移(肝転移、肺転移)または腹膜播種がある

出典:国立がん研究センターがん情報サービス一般の方向けサイト「大腸がん」

大腸がんの主な症状

- 血便・下血
- 便が細い
- 残便感がある
- 下痢と便秘を繰り返す
- お腹が張る・腹痛
- 貧血
- 体重減少 など

がんができてすぐには自覚症状がほとんどありません。下痢と便秘を繰り返す、血便が見られるなど、すでに大腸がんを疑うべき症状がある場合は、がんが進行している可能性がありますので、すぐにかかりつけ医を受診してください。

大腸がんの症状は?



早期の大腸がんは症状がほとんどない

40歳以上は、毎年欠かさず受けるべき

大腸がん検査は、便に混じる血液の有無を調べます。一度の検査では見つからない場合もありますので、40歳を過ぎたら毎年受けるようにしてください。継続して受けることで発見が遅れるのを防ぐことができます。精密検査が必要と診断された人の中には、「痔による出血」と思い込んでしまう人が

「要検査」となった人は精密検査を必ず受けることが大切!!



検診には行った方がいい?



いますが、自己判断をせずに必ず精密検査を受けるようにしましょう。精密検査を受けなければ、本来見つけれられたかもしれないがんを見落としてしまう可能性があります。がん検診の意味がなくなってしまう。

早い段階で見つければ根治する率も上がる

リンパ節や肝臓といった他の器官への転移がない早い段階で発見できれば、手術や化学療法で根治が望めます。ポリープの状態で見つけた場合は、がんになることを防ぐこともでき、社会復帰までの時間も短くて済みます。

TOPICS

がん検診で元気に長く働ける職場に

「仕事柄体力が必要なので、従業員に健康で長く働いてもらうためには病気の早期発見、早期治療が大事だと考えています。希望者だけに行っていたがん検診を、定期健診時に40歳以上の社員全員に強力に推奨し、現在は社員全体に浸透しました。実際、がん検診による早期発見、早期治療により職場復帰している従業員もいます。」

青森県健康経営事業所



株式会社 鹿内組
健康経営事業所
推進担当
にしだ あきら
西田 彰さん

青森県健康経営事業所とは

青森県の働き盛り世代の健康づくりを推進するため、従業員の健康管理に積極的に取り組んでいる事業所を、県が認定しています。



詳しくは

青森県健康経営認定制度



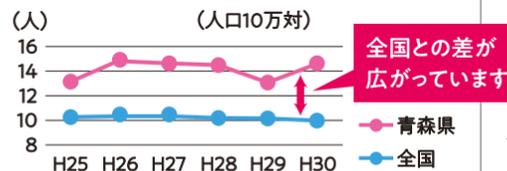
青森県の大腸がん事情

がん死亡率は15年連続最下位!! (H16~H30)

全国でも、青森県でも、がんになる人の中で一番多いのは大腸がん!

大腸がんの死亡率が全国ワースト1位!!

大腸がんの75歳未満年齢調整死亡率



出典:国立がん研究センターがん情報サービス「がん登録・統計」

働き盛り世代(40~50代)のがん死亡率が高い!!

青森県が実施した大腸がん検診モデル事業では5年間検査受けていない人と、受けている人を比較したところ受けていない人にがんが多く見られました。

精密検査でポリープが見つかったも切除することで、がんを予防できます!



毎年受けていますか?